科目名: 地域・在宅看護概論Ⅱ	必修	1単位(45時間)
(Community and Home Care Nursing Ⅱ)		

履修年次/時期: 2年次 前期　　授業形態: 講義

主担当教員: 佐藤 光栄

主担当教員詳細: 実務経験　看護師13年、地域在宅医療連携拠点相談員5年から、実践事例を入れながら看護のポイントが身につくように講義を行う。

担当教員名: 相原 綾子

学修目的	地域・在宅看護の提供される場や多様な状況の対象が理解でき、地域・在宅看護において必要な知識・技術・態度を身につける。 関連するCP: CP2　　科目No. KNI-205		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	−
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	−
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	−
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	−
	◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○: この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	① 地域・在宅療養者の特性について理解する。 ② 看護職に必要な視点について述べることができる。 ③ 療養者と家族の生活を支援するシステムについて述べることができる。		
授業概要	地域で生活しているあらゆる療養者(児)とその家族の特徴を理解し、生活の質(QOL)の向上を目指して、多職種と連携しながら必要な看護を提供するための知識、技術、態度を学ぶ。		
評価方法	小テスト(10%)・定期試験(90%) 試験に関するフィードバックは掲示で行う		
予習・復習時間	【予習】1.9h 【復習】1.9h		
教科書	地域・在宅看護の実践　第6版(医学書院)2026 地域・在宅看護の基盤　第6版(医学書院)2026		
参考書	渡辺裕子:家族看護学を基盤とした在宅看護論Ⅰ(概論編) 第 6 版, 日本看護協会出版会, 2022 在宅看護論(医学書院) 地域・在宅看護論(医学書院)2025 国民衛生の動向 2024/2025(厚生統計協会)		
ｵﾌｨｽｱﾜｰ連絡先	佐藤 光栄　9:00～17:00(場　所)　3号館3階研究室、メールでアポをお願いします。sato.mitsue@kdu.ac.jp 相原 綾子　9:00～17:00(場　所)　3号館3階研究室		

実施回	第1回	実施日	2026/04/30 (木)	時限	3	班	
授業計画	ガイダンス・復習 ①在宅看護について自分なりのｲﾒｰｼﾞを持てる。 ②在宅看護概論Ⅰが想起できる。	予習	教科書 P2-10を読んでおくこと				
		復習	身近な人や地域に暮らす人々の語りや暮らしについて考える				
		キーワード	在宅看護、地域看護、暮らし、生活者				
授業形態	講義	担当	佐藤				

実施回	第2回	実施日	2026/04/30 (木)	時限	4	班	
授業計画	家族を支える看護 ①家族のアセスメントのポイントがわかる。 ②家族への支援を説明できる。	予習	教科書 P62-70を読んでおくこと				
		復習	教科書 地域・在宅看護論1P94 work①③をまとめること				
		キーワード	家族、セルフケア、価値観、意思決定				
授業形態	講義	担当	佐藤				

実施回	第3回	実施日	2026/05/07 (木)	時限	3	班	
授業計画	認知症高齢者への支援 ①認知症の療養者の状況が理解できる。 ②支援の方法が理解できる。	予習	教科書 P318-330を読んでおくこと				
		復習	教科書 老年看護学の認知症に関する部分を読んでおくこと				
		キーワード	認知症、看護の方向性、チームでのケア				
授業形態	講義	担当	關				

実施回	第4回	実施日	2026/05/07 (木)	時限	4	班	
授業計画	難病の療養者への支援 ①難病の療養者の状況が理解できる。 ②支援の方法が理解できる。	予習	教科書 :P283-296を読んでおくこと				
		復習	教科書 地域・在宅看護論Ⅰ P204-206を読んでおくこと				
		キーワード	難病、ALS、看護の方向性、チームでのケア				
授業形態	講義	担当	佐藤				

実施回	第5回	実施日	2026/05/14 (木)	時限	3	班	
授業計画	終末期の療養者への支援(グリーフケアを含む) ①終末期の療養者の状況が理解できる。 ②支援について理解できる。	予習	教科書 :P245-248を読んでおくこと				
		復習	教科書 地域・在宅看護論Ⅰ P168-177を読んでおくこと				
		キーワード	終末期、ACP、看取り、グリーフケア				
授業形態	講義	担当	相原				

実施回	第6回	実施日	2026/05/14 (木)	時限	4	班	
授業計画	精神疾患の療養者への支援 ① 精神疾患の療養者の状況が理解できる。 ② 精神科訪問看護指示書および、法的制度を含めて支援方法が理解できる。	予習	教科書 P309-318 を読んでおくこと				
		復習	教科書 地域・在宅看護論Ⅰ P204-206を読んでおくこと				
		キーワード	統合失調症、看護の方向性、GAF尺度				
授業形態	講義	担当	佐藤				

実施回	第7回	実施日	2026/05/28 (木)	時限	3	班	
授業計画	小児(医療的ケア児)への支援 ① 医療的ケア児の状況が理解できる。 ② 支援について理解できる。 ③医療的ケア児・者コーディネーターについて理解できる	予習	教科書P252-265 を読んでおくこと				
		復習	教科書 地域・在宅看護論Ⅰ P204-207を読んでおくこと				

		キーワード	医療的ケア児、支援法、家族、在宅療養、日常の看護
授業形態	講義	担当	小原

実 施 回	第8回	実 施 日	2026/06/04 (木)	時限	3	班	
授業計画	まとめ ① 看護職に必要な視点が述べられる。 ② 療養者と家族の生活を支援する方法について述べられる。	予　習	教科書 P228-248 を読んでおくこと				
		復　習	教科書 P358-380 を読んでおくこと				
		キーワード	看護の方向性、チームでのケア、療養者、家族、訪問看護				
授業形態	講義	担当	佐藤				